

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「本学高齢者歯科学分野における歯科心身症患者の後方視的検討」に関する研究実施のお知らせについて

当院では、最適な治療を患者さんに提供するために、病気の特徴を研究し、診断法、治療法の改善などを目指す医学系研究を行なっています。そのような医学系研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様にご覧いただき、研究内容を正しく理解していただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長 水田祥代）からの許可を受けています。この研究が許可されている期間は、2024年6月30日までです。

1. 研究の対象となる方の条件

2017年4月1日から2019年3月31日までに、当院高齢者歯科を受診された歯科心身症の患者さんのうち、認知行動療法や薬物療法などの心身医学的治療を受けた方が対象で、目標症例数は200例です。

この研究において、ご自身の診療情報が利用されることを望まれない場合は、お手数ではありますが、下記相談窓口までご連絡ください。

2. 研究の目的や意義について

原因不明の舌の痛みや口の違和感のことを、総称して歯科心身症と呼びます。歯科心身症については、まだ解っていないことも多く、研究も少ない状態です。この研究では、歯科心身症の患者さんの特徴や治療経過をまとめ、より良い治療法を探することを目的にしています。

3. 研究の方法について

この研究では、対象となる方の診療録より以下の情報を取得させていただきます。

〔取得する情報〕

年齢、性別、発症のきっかけ、発症から治療開始までの期間、全身の病気、心理的特徴、歯科心身症の病名、予後（改善の度合い）、使用した薬剤名 また、改善の度合いを Clinical global impression (CGI) という方法で評価します。CGI とは、痛みや違和感の全般的な改善度を7段階（著明改善、改善、軽度改善、不変、軽度悪化、悪化、著

明悪化) に分類して評価する方法です。CGI の評価は、診察の内容から主治医が行い、著明改善あるいは改善に分類された患者さんを予後良好と判断します。評価結果と取得した情報の関係性を分析し、どのような特徴が良好な治療経過に関連しているのかを明らかにします。

4. 試料や情報の管理について

この研究において研究対象者から得られた情報は、研究終了後、福岡歯科大学総合歯科学講座高齢者歯科学分野において同分野教授の内藤徹の責任の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

なお、得られた情報は二次利用の可能性があるので、上記期間を越えて保管する場合があります。情報を二次利用する場合は、改めて研究計画を倫理審査委員会に提出し審議をうけ、研究計画について公開を行ってから研究を実施します。

5. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、下記相談窓口までご連絡ください。

6. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	学校法人 福岡学園 福岡歯科大学 総合歯科学講座高齢者歯科学分野
研究責任者	福岡歯科大学 総合歯科学講座高齢者歯科学分野 教授 内藤 徹

7. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡歯科大学 総合歯科学講座高齢者歯科学分野 講師 梅崎 陽二郎 連絡先：〔TEL〕 092-801-0411 (内線 666) 〔FAX〕 092-801-0475 メールアドレス：umezaki@college.fdcnet.ac.jp
---------------	--

(作成日：2019年12月4日 最終修正日：1月31日)